

2 年 学 年 通 信

文化発表会を終えて -各学級の作文より(1)-

「戦争」というテーマで悲しい現実を受け入れ、今後二度とあってはダメというのが、生徒のみなさん、先生方、親たちにも届いたと思います。私自身の心にも響きました。色々なことに気付かされたような気がします。3週間と、とても短い時間で、これだけの感動と悲しみを伝えれたのは、みんなが自分以外の人達に協力したりサポートがあった劇だからだと思います。私は、役者の人がとてもがんばっていると聞き、自分もがんばろうと思われました。舞台上では、今まで出すことのなかった力を出せていたし、演技力もとてもあり、感情も入っていました。とにかくまとめると、2年生一度だけの文発、最高になりました。

1組女子

「全く緊張していない。」友達に本番前に聞かれたとき、こう答えましたが、やはり演劇が始まると緊張してしまいました。本番一週間くらい前から、玄関に去年の文化発表会の映像が流れていて、それを見ていると「こんな作品、今年も作れるかな。」と心配になり、本番が近づくにつれ、不安になってきました。実際、セリフを覚えたのもその前後で、完璧に覚えたのは、もう本番2日前に迫ったりハースルの日でした。これは不安になるのも当然で、今となっては「さっさと覚えとくべきだった。」と後悔しています。そんなこんなで迎えた当日、壇上に出たとき、客席側はスポットライトがまぶしかったおかげで見れませんでした。セリフはほぼすべて覚えていましたが、それを読むスピードが少し遅かったかなと感じました。最後、カーテンが閉じた後、やり遂げた達成感があってすごくうれしかったです。ただ、それと同時にものすごい疲労感が押しよせてきて、眠たくなりました。これも、とても不安だったものが一気に解放されて安心したからだと思います。とにかく、この劇が無事に終わることができてよかったです。ただし、この劇は終わりましたが、「命を大切にする気持ち」はこれからも大切にしていきたいです。

1組男子

いつもは戦争のことを考えていなかったが、自分たちが演じてみて、戦争はだめだということを改めて知った。文化発表会の前日、「この劇を通して戦争のことを伝えることができるのかなあ。」と思っていました。しかし、いざ演技をしてみると、伝わっているのではと思いました。すると、観てくださっていた方々から「感動した。」などと言っていただいたのですごくうれしかったです。この劇は達成感のある劇になりました。

1組男子

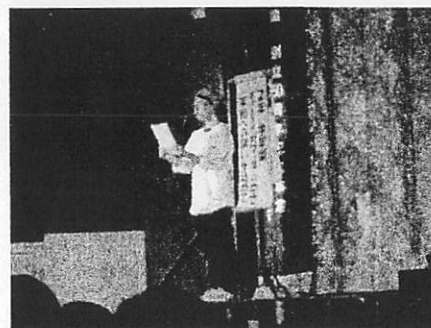
自分が一番がんばったと思うのは、学年劇です。自分の役が決まってから、すぐにセリフを覚えようと思いました。でも初めはなかなか覚えられなくて、同じシーンの人達がほとんどセリフを覚えていてとてもあせりました。そして同じシーンのメンバー全員がセリフを覚えて練習ができたときはうれしかったです。先生にも「このグループが一番覚えるのが早い。」と言われて、「もっと極めたる」と思いました。でも、苦労したこともあります。それは、動作をつけることでした。どうやったらいいのかわからなくて困っているときに先生が教えてくれて、少しはすかしかったけど動作を付けてしました。通して劇をしたときは他のシーンの人たちを見て笑ったり感動したりして、「もっとがんばらないとな」と思いました。当日はいつも以上に緊張していて、うまくセリフが言えるか心配だったけど、今までで一番の演技ができた気がしてとても楽しかったです。

今年のスローガンの『汗出せ 声出せ 力出せ』が達成できたんじゃないかなと思います。

1組女子

やり切ったと思う。このことでもっと人として成長できたのではないかなと思う。この体験の意味をしっかりと考えたのではないかなと思う。この経験はいい物になり、すごく自分の宝物になった。これで終りにするのではなく、これをスタートとして考えたい。

1組男子



折り鶴アートを作るときに、折り鶴を折るのが苦手でした。折るスピードも遅いし完成度も低かったけど、いっぱい折っていくうち、スピードも2倍くらい速くなったし少きれいになって上達したので良かったです。折り鶴を折る機会はそんなにないし、こんなにも折ったのは初めてでした。玄関に飾られている折り鶴アートを見て、平和を願うアートだと思いました。

劇では、表に立って何かを言うのが苦手でしたが、役者になってたった二言を言うだけですが、少し表舞台に立つことが恥ずかしくなくなりました。後、少し大きい声で言えたのも良かったかなと思います。でも、エンディングの島唄のときに少し小さな声だったのでもう少し大きな声で歌えば良かったかなと思います。でも、この経験は自分にとって絶対に良い経験になると思いました。

3年生の合唱では、ハーモニーがすごくきれいですごく感動しました。私たちも2月に合唱コンクールがあるので聞いている人たちに感動を与えられるような歌にしたいと思いました。3年生の合唱が一番心に残りました。

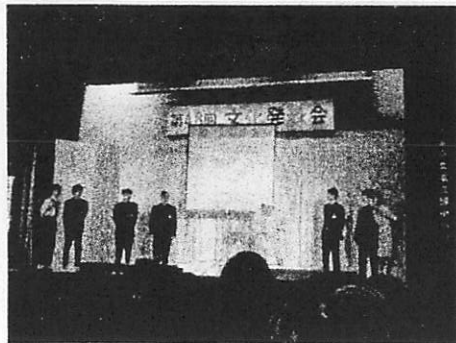
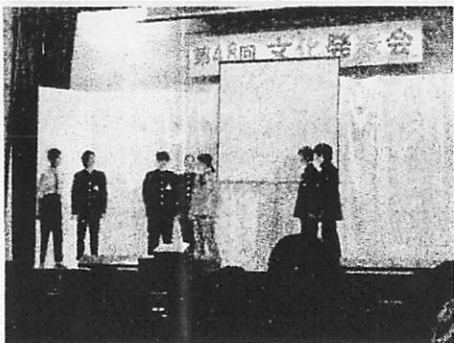
2組女子

僕は文発前に病気にかかり、本当に無理じゃないかと思いましたが、この学年劇は、1人でも欠けては成功しないと思いました。

学年劇の練習の時に校長先生が来られて、みんなにメッセージを送ってくださいました。その後、劇練習が終り帰るとき、そこに校長先生がいらっしやったので僕が「劇どうでしたか？」と思わず聞くと校長先生は「とても良かった。」、そして「この劇で一番大事なのは、この劇を通して生徒が何を思い、何を感じるのかだよ。」とおっしゃいました。僕はその晩、校長先生の一言について考えました。

そして文発当日は、54期生みんなが今まで一生懸命練習してきた思いがこの1回に込められていました。

文発が終り、戦争について考えてみると、「やはりどんな理由があっても戦争はしてはいけない」と思いました。僕はこの学年劇で戦争について考えるきっかけになり、この事実は忘れてはいけないことだと思いました。 2組男子



2 年 学 年 通 信

文化発表会を終えて -各学級の作文より(2)-

僕はこの劇で、大小道具係を務めていました。地味ながら重要な裏方の仕事でした。道具を作り終えた後は、折り鶴を台紙に貼る作業をしました。あと、道具の修理や道具運びもしました。まず、道具作りでは、手りゅう弾を作りました。登場時間は短いですが、どうすれば本物っぽく見えるか考えて作りました。本番にそれが使われたときはとてもうれしかったです。

次に折り鶴アートは、毎日誰かが遅くまで残っていたのに、間に合うのがギリギリだったのでしんどかったです。でも、完成した「命どう宝」のあの絵を見るとがんばったことが報われたような気がしました。

この文化発表会で、僕がやったのは、大小道具の仕事ですが、思い出になるいい文化発表会でした。ただ、来年は3年生として中学校最後の文化発表会なので、悔いが残らないよういろいろやって、今年よりいい物にしたいです。

2組男子

3年生の合唱コンクールは全クラス本当に良い歌声で心にグッときたり、ピアノの伴奏もとても感動しました。「with you」の指揮もとても印象に残っていて、いきいきと笑顔で歌っているところを見て、私たちも来年このように感動させることができたらいいなと思いました。

来年の文化発表会は今年よりも楽しく笑顔でむかえられるように、行事に一生懸命に取り組んでいきたいと思います。

2組女子

自分は照明担当で、役者みたいに人前には出なかったけど、一度照明をやってみたいと思った。実際やってみると、立ったり座ったりで痛くなり、スポットライトもつけておくと熱くなったりした。役者の人を照らすのも難しかったけれど照明でよかったと思えた。

他の学年もとてもすごい作品や歌を作り上げていてすばらしかった。特に3年生は今年の文化発表会が中学校生活最後なのでとても全員大きな声で迫力があって感激した。

文化発表会を通じて、仲間を大切にし団結力を大切にしようと思った。なぜなら1人でもできることはあるけど、仲間とならすればらしい思い出になるからです。

2組男子

文化発表会の前日まで折り鶴アートができていなかったけど、大小道具係以外の人も手伝ってくれていて、皆優しいなと思った。

また、裏方のとき、学年劇を観ていたことは、ダンスを踊っている人たちは、あんなに大勢の人が観に来ているのに失敗せずに踊れてとてもすごいということでした。役者の人たちも、大きな声を出してすごくがんばっているなと思った。

3組女子

最初(学年劇の担当を決める時)、ダンスは楽しそうに入っただけ練習がハードで、たまにやるのが嫌になるときもありました。でも他のダンスチームの人たちが優しくていねいに教えてくれ、やっと順番を覚えてあとは細かい振り付けでした。そこからは、家での自主練習をしてがんばりました。

3組女子

取り組みも3週間前から折り鶴アートも間に合わないんじゃないかと思っていて、小道具などを作っているときもすごくあせってしまいました。折り鶴アートも文化発表会の日にギリギリ間に合って、折り鶴アートに驚く人を見て、ニヤニヤしてしまいました。

舞台の演技を観ている人のリアクションを見たり聞いたりしてうれしくなったり、自分が作った物が出てくると、自分は舞台にでていないのにときどきしました。劇が終わった後は安心感しかありませんでした。

3組女子

役者になったときは、ちゃんとセリフを覚えられるのかなと思い不安でした。しかし、たくさんの練習をして、完璧にセリフを覚えることができました。後は、感情や動作を入れることでした。それが一番難しかったです。その当時の人のことを想像して感情や動作を入れました。役者って難しいなーと思いました。本番は、なるべくつまらないようにしようと思いました。すると、つまずにできて、感情や動作も練習通りにできてとてもうれしかったです。来年は合唱なので頑張りたいです。

3組男子



